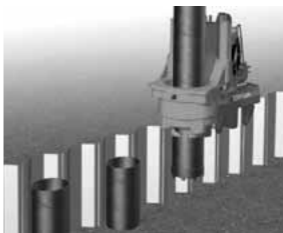


コンビジャイロ工法[®]

「コンビジャイロ工法」は、鋼管杭とハット形鋼矢板900を組合せた壁体構造を提供する工法です。鋼矢板を打設した後、鋼矢板から反力を取って、鋼矢板に沿わせて鋼管を回転圧入することによって壁体を構築します。施工にあたっては、鋼矢板打設後にアタッチメントを変えることで1台の機械で施工が可能です。なお、本工法は2013年7月にNETIS登録されました（CB-130005-A）。



断面図



施工状況図

特長

1. 合理的な壁体構造
高剛性で止水性に優れる壁体を構築可能です。また、鋼管径・ピッチを調整することにより最適設計が可能となります。
2. 環境に優しい
圧入工法による低振動・低騒音・無排土での施工が可能です。

用途

高剛性で止水性に優れるため、土留め壁、止水壁として幅広く用いることができます。

◆道路擁壁



◆仮締切り



ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。